



戸塚小学校だより

学校所在地 〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町132

TEL 881-0049・6461

Eメールアドレス y3totuka@edu.city.yokohama.jp

FAX 881-9804

深まりゆく秋に

副校長 澁田 美穂

校庭の金木犀の香りに秋の深まりを感じる季節となりました。10月は思いのほか寒暖の差が大きく、体調を崩す子が多く、インフルエンザに罹患した子もいました。元気で楽しい学校生活を送れるようご家庭でもお子様の健康管理に十分ご留意をお願いいたします。

後期が始まり、横浜市児童体育大会、修学旅行、校外学習や見学等、各学年で様々な行事や学習が一つずつ終わっていきます。子ども達はそれぞれの活動に目標をもち、日々練習や学習を重ね、当日は精一杯力を発揮して満足のいく成果をあげようと努力しています。行事や体験学習など、その活動から得たものを糧にさらに高い目標をもち、学習においても実りの秋となるよう取り組みをすすめているところです。

10月15日には戸塚区警察署による「防犯のつどい」が本校校庭で開催されました。子どもたちは防犯についてクイズを通して学びました。また、頻発するオレオレ詐欺については、「おじいちゃん、おばあちゃんにキャッシュカードを持ってきてねと言われても持って行ってはいけないよとお家で話してください。」と話がありました。子どもたちは、防犯について、地域での対策はもちろんのこと、家族ぐるみで対策することの大切さも学びました。

10月は各地で大型台風の爪痕が残りました。台風15号の到来で、戸塚小学校では敷地内の樹木の枝が折れたり、体育館ミーティングルームの屋根の一部が剥がれたりする被害がありました。台風15号の被害回復をする間もなく、全国各地に再び大型台風19号が到来し、各地に被害の爪痕を残しました。大型台風15号の被害状況を踏まえ、台風19号接近に備えては「災害対策本部」を設置した地域も多く、戸塚区では「避難準備・高齢者等避難開始」が発令されました。市内小学校・中学校でも地域防災拠点として開所する市立学校がありましたが、戸塚小学校では地域防災拠点校として開所するまでには至りませんでした。台風19号の報道の中で、風水害被害をうけた千葉在住の方がインタビューに答え、「台風15号を体験し、台風に対する防災意識が高くなりました。そのため19号では事前対策をできる限り行い、被害を最小限にとどめることができました。」とおっしゃっていました。その言葉を聞き、学校で「子どもたちの防災意識を高めていく」ことの必要性を再確認しました。今回の台風の後、風水害についても「事前の備えの大切さ」が強調されています。各ご家庭でも子どもたちと共に食料や水、医薬品等の備蓄を確認したり、ハザードマップや避難場所の確認をしたりして風水害についての意識向上にご協力をお願いいたします。

この度の台風19号により被災されたみなさまに、心からお見舞い申し上げます。